



令和7年度3校合同学校運営協議会開催

第3回学校運営協議会は森田小学校、森田中学校、森田養護学校の「3校合同学校運営協議会」として10月17日（金）に本校体育館で開催されました。各校の学校運営協議会委員や教職員が一堂に会し、各校の活動内容や地域資源等をもとに、今後の森田地区の教育活動の充実につなげるために話し合いました。前半は「お互いの学校を紹介し合いましょう」ということで各校の特色ある取組や学校概要説明をスライドを使いながら紹介しました。学校見学ではつがる市市制20周年を記念して高等部生徒がデザイン・作成した缶バッジの紹介と、気に入った缶バッジに投票していただきました。「絵が細かく描けていてすごい。」「色使いが素敵。」などという声が聞こえていました。



後半は4グループに分かれて「地域と子どもが共に輝く森田の学び～交流学习の実践を通して～」をテーマに熟議が行われました。KJ法（断片的な情報やアイデアを整理・統合するための手法）で、付箋には「合同清掃活動を通して、どんなことを感じたか。」「地域と子どもが共に輝く森田の学びとは、どんな姿か。」「次年度への提案 ※『できそうな一歩』を意識してまとめる。」について書き出され、模造紙が付箋でいっぱいになりました。最後の各グループの発表は、感じたことやたくさんのアイデアであふれていました。活動を通して関わり合うことで地域愛や思いやりをもつことができ、それが自己肯定感や環境に対する意識の高まりにつながっていくことが各グループの共通点になっていたと感じました。



見学に来てくださった生涯学習課の宮本指導主事からは「3校の活動内容を具体的に知ることができた。森田地区では地域と学校が連携して熱心に活動していることが分かった。皆さんの子どもたちへの思いの強さも伝わってきた。子どもたちのために、今後とも充実した活動を継続していただきたい。」との感想をいただきました。最後に鈴木校長から「互いの学校について理解を深め、子どもたちのために地域と学校がどのように連携していけば良いのかの知恵を出し合っていた。たくさんの貴重なご意見をいただいたので、様々な協働学習に生かしていければと思う。」との挨拶がありました。

中学部・高等部：9/5（金）体育館等で防災教室が行われました。つがる市消防署員さんのご指導とひまわり応援隊のみなさんにお手伝いいただき、防災クイズ、水消火器や煙ハウス、毛布担架、AED の使い方などいろいろな体験をしました。災害や防災について普段から備えることの大切さを学びました。



小学部：9/17（水）に体育館で1～3年生とたていし愛児園の子どもたちによる交流及び共同学習が行われました。みんなで力を合わせて段ボールでトンネルを作ってくぐったり、高く積み上げたり、好きな遊具で遊んだりと楽しい時間を過ごしました。



小学部：9/26（金）今年もたくさんの作物を収穫させてくれた畑に感謝しながら、7、8組と社協やシルバークラブ、ひまわり応援隊のみなさんと一緒に除草シートの撤去など、地域協働菜園の畑じまい作業をしました。来年はどんなじゃがいもや枝豆が収穫できるのか、とても楽しみです。



中学部：10/2（木）体育館で社会福祉協議会の方々を講師に招き、高齢者疑似体験を行いました。高齢者との接し方講座や疑似体験セットで高齢者になりきり、買い物を体験しました。硬貨の識別の難しさや、落としたものを拾う作業がいかに大変かということを知ることができました。



小学部：10/7（火）今年度2回目となる学校周辺の道路クリーン作戦が行われました。熊の出没が増えたため、校外コースとグラウンド、バスプール周辺コースに分かれシルバークラブやひまわり応援隊のみなさんにごみ拾いをがんばりました。毎回事前の草刈りをしてくださったつがる市、鱒ヶ沢町、西北県民局のみなさま、ご協力いただきありがとうございました。



中学部：10/14（火）つがる市森田高齢農業者生きがいセンターで、シルバークラブとの交流会が開催されました。シルバークラブの華麗な「ねぶた音頭」と、生徒たちの元気いっぱいの「青の煌めきダンス」をお互いに披露しました。次に4つの班に分かれ、音楽のストップに合わせて振り落とされるカゴにつかまらないように、紐に付いた紙コップを素早く引っ張るといったハラハラドキドキなゲームや、勝てそうでなかなか勝てないじゃんけんにとっても盛り上がりました。



中学部：11/11（火）、20（木）本校体育館で相撲の授業が行われました。講師に青森県相撲連盟西つがる支部の方々を迎え、まわしの付け方や、相撲の礼法と基本動作を学びました。真剣に取り組んでいたその姿は、しっかりと夕方のNHKニュースで放映されていました。

